

# Press Release

2026 年 1 月 19 日  
送付枚数 本票含め 5 枚



報道機関 各位

## 大学院人間社会科学研究科長候補者及び 時間学研究所長候補者の決定について

このことについて、令和 8 年 1 月 16 日開催の役員会の議を経て、別紙のとおり、次期大学院人間社会科学研究科長候補者及び時間学研究所長候補者を決定しましたので、お知らせします。

※次期大学院人間社会科学研究科長候補者は、現在、大学院東アジア研究科長を務めており、令和 8 年 4 月就任予定の経済学部長と併せ、これら 3 つの役職を兼務する予定です。

本件に関する詳細は下記までお問い合わせください。

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部  
総務課広報室  
〒753-8511 山口市吉田 1677-1  
TEL 083-933-5007  
FAX 083-933-5013  
E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

## 山口大学大学院人間社会科学研究科長候補者の決定について

杉井 学 現大学院人間社会科学研究科長の任期満了（令和8年3月31日）に伴い、令和8年1月16日開催の役員会の議を経て、古賀 大介 教授（経済学部）を次期大学院人間社会科学研究科長候補者として決定した。

任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間である。

【氏 名】 古賀 大介（こが だいすけ）

【年 齢】 54歳（昭和46年9月生）

【出 身 地】 長崎県

【現 職】 山口大学教授経済学部  
山口大学大学院東アジア研究科長  
国立大学法人山口大学教育研究評議会評議員

【専門分野】 国際経済史

【学 歴】

平成 7年 3月 熊本大学文学部史学科 卒業  
平成 9年 3月 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程前期課程経済学専攻 修了  
平成14年 3月 名古屋大学大学院経済学研究科博士課程後期課程経済学専攻 修了

【学 位】 平成14年3月 博士（経済学）（名古屋大学）

【職 歴】

平成14年 4月 名古屋大学助手大学院経済学研究科  
名古屋大学助手経済学部（併任）  
平成15年 4月 山口大学講師経済学部  
平成17年 8月 山口大学助教授経済学部  
平成18年 4月 山口大学助教授大学院東アジア研究科  
平成19年 4月 山口大学准教授大学院東アジア研究科  
平成21年 4月 山口大学准教授経済学部  
平成28年 2月 山口大学教授経済学部  
平成30年 4月 山口大学大学教育機構留学生センター長（～令和2.3.31）  
平成31年 4月 山口大学教授大学院東アジア研究科  
令和 3年 4月 山口大学大学院東アジア研究科副研究科長（～令和5.3.31）  
令和 4年 4月 山口大学教授経済学部（現在に至る）

令和 4年 4月 国立大学法人山口大学教育研究評議会評議員（現在に至る）  
令和 5年 4月 山口大学大学院東アジア研究科長（現在に至る）

**【選出経緯】**

人間社会科学研究科長から研究科長候補適任者の推薦を受け、役員会において所信表明の内容及び面接の結果を総合的に審議の上、学長が研究科長候補者を決定した。

**【選出理由】**

東アジア研究科長として、東アジア研究科の発展のために尽力しており、また、山口大学教育研究評議会評議員として全学的な組織運営に携わった実績がある。

大学の運営方針及び発足間もない人間社会科学研究科の抱える課題を十分に理解し、同研究科の将来構想、教育・研究の活性化及び地域貢献に向けた具体的な取組を構想している。

以上のことから、人間社会科学研究科における教育研究活動にリーダーシップを發揮し、同研究科を適切かつ効果的に運営し、大学のさらなる発展に貢献していくことができる者として適任であると判断した。

（注）山口大学長の発令までは、研究科長候補者となります。

## 山口大学時間学研究所長候補者の決定について

藤澤 健太 現時間学研究所長の任期満了（令和8年3月31日）に伴い、1月16日開催の役員会の議を経て、小山 虎 准教授（時間学研究所）を次期時間学研究所長候補者として決定した。

任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間である。

【氏 名】 小山 虎（こやま とら）

【年 齢】 53歳（昭和48年1月生）

【出 身 地】 京都府

【現 職】 山口大学准教授時間学研究所  
山口大学時間学研究所副所長

【専門分野】 人文・社会 / 哲学、倫理学 / 分析哲学

【学 歴】

平成 8年 3月 大阪大学人間科学部人間科学科 卒業  
平成 10年 3月 大阪大学大学院人間科学研究科修士課程 修了  
平成 16年 3月 大阪大学大学院人間科学研究科博士課程 修了

【学 位】 平成 10年 3月 修士（人間科学）（大阪大学）  
平成 16年 3月 博士（人間科学）（大阪大学）

【職 歴】

平成 16年 4月 日本学術振興会特別研究員（PD）（～平成 19年 3月）  
平成 17年 9月 米国ニュージャージー州立ラトガース大学哲学科客員研究員  
（～平成 18年 12月）  
平成 19年 9月 慶應義塾大学文学部非常勤講師（～平成 22年 3月）  
平成 22年 4月 国立大学法人大阪大学特任助教（常勤）大型教育研究プロジェクト支援室  
（～平成 23年 3月）  
平成 23年 4月 国立大学法人大阪大学特任助教（常勤）大学院人間科学研究科  
（～平成 27年 3月）  
平成 27年 4月 国立大学法人大阪大学特任助教（常勤）大学院基礎工学研究科  
（～平成 30年 3月）  
平成 30年 4月 国立大学法人山口大学講師（テニュアトラック）時間学研究所  
（～令和 4年 3月）  
令和 4年 4月 山口大学准教授時間学研究所（現在に至る）

令和 6 年 4 月 山口大学時間学研究所副所長（現在に至る）

【選出経緯】

山口大学時間学研究所から研究所長候補適任者の推薦を受け、役員会において所信表明の内容及び面接の結果を総合的に審議の上、学長が研究所長候補者を決定した。

【選出理由】

山口大学時間学研究所副所長として、同研究所及び大学の発展のために尽力している実績がある。また、同研究所の発展に向けた将来ビジョンを持ち、教育・研究の活性化及び地域連携に向けた具体的な取組を構想している。

以上のことから、時間学研究所における教育研究活動にリーダーシップを發揮し、同研究所を適切かつ効果的に運営し、大学本部と協力し大学のさらなる発展に貢献していくことができる者として適任であると判断した。

(注) 山口大学長の発令までは、研究所長候補者となります。